

αηρ はギリシャ語で「あえる」と読み、大気・天空を意味します。空で会える、仲間に会えるを合言葉に!



広報

あえる

HOSPA

Vol.55

夏も冬も北海道のスカイスポーツを楽しもう!

発行日 2014.1.15

寄稿

～曲技飛行、自由の空～

曲技チーム「RED FOXII」 梶 智就

2013 SKY SPORTS EVENT

・北海道各地で開催のスカイスポーツイベント紹介

みんなのスカイスポーツ教室

・ふしぎヒコーキ教室 深川市

トピックス

- ・日本の凧の会全国大会 北海道で初開催!
- ・チ・カ・ホで、スカイスポーツ展示会

2013北海道スカイスポーツフェアin滝川

・翔び立とう!空知の翼に夢のせて



〒060-0042 札幌市中央区大通西4丁目道銀ビル TEL011-232-4347



公益社団法人北海道スカイスポーツ協会

HOKKAIDO SKY SPORTS ASSOCIATION

HOSPA

検索

曲技飛行、自由の空

寄稿 梶 智就

梶智就氏は国内でも数人しかいない曲技飛行パイロットの第一人者で曲技飛行チーム「RedFoxII」に所属、世界選手権への出場など世界各地を転戦活躍中です。HOSPA主催の「2013北海道スカイスポートフェアイン滝川」において、素晴らしい曲技飛行を演じ大変好評を博しました。子供のころからの空への夢実現の思いと、現在の曲技飛行パイロットとしての立場から、空の魅力やフライトに当たった際の安全性に対する考え方などを寄稿していただきました。

ポーランドの古都トルン近郊。世界大会に向け訓練中の選手の後部座席から。

自由に空を
飛びたくて

強い意欲を認められ
ポーランドで特訓

子供の頃から自由に空を飛びたいという夢がありました。学生時代に見たエアショーで飛行機が自由自在に舞う様を見て、やるしかないと思い立ち、すぐ近くの滑空場へ出向きグライダーを習い始めました。自然の力で飛び続けるグライダーの快感にとらわれ、もっと自由に飛びたいという

想いが強くなりました。その後板倉滑空場を拠点に活動している「RedFox」と言う曲技チーム代表の鐘尾みやこさんに意欲を認められ、世界チャンピオンであるイエジー・マクラ氏に紹介されて弟子入りすることになった。世界選手権で7回も優勝し、「生きる伝説」として知られる名パイロットです。同氏の拠点であるポーランドで2週間ほどの特訓を受けた後、勧められ欧州選手権に出場することになりました。初めての国際舞台。飛ぶ前は少し心配でしたが、いざ競技が始まるとこれまで習ったことをただ無心でやっていました。飛行機と一体になり、両翼で力強く空気を切り裂き、何の制限もない自由の喜びの中で思う存分飛び回ることができました。その後は毎年世界選手権に参戦しながら、さらなる飛行の自由を探索しています。



急降下するPittsS-2C。重力とエンジンの力があいまって、強烈な加速感が生まれる。

スリルも危険も無い、
自由と調和の世界

あらかじめ決まっている自由

ひらひらと落ちてくるように見える曲技飛行を見て、危険を感じるのは自然なことかもしれません。パイロットは墜落と紙一重の危険な操縦によってスリルを感じ、自己顕示欲を満たしているのか：現状は正反対なのです。

空の危険は、予想外の部分から訪れます。予想できなかったからこそ、対処が遅れ、危険な状況になってしまう。曲技飛行は、すべてを予め決められたとおりに飛ぶ技術なので、予想できない部分がほとんど残りません。このような書き方をすると、「自由」と正反対のように見えます。でも、予定どおりに飛ぶということとは、思ったとおりに飛ぶということとは、思いどおりに飛べたとき、そこにはただ、深い自由の感慨が残ります。

埼玉県妻沼滑空場でのエアショー。



時速280kmでのローパス後、急激に機首を上げて上昇。グライダーが自力で上昇する光景に驚かれることが多い。

撮影：山康弘氏

パイロットと飛行機は一体化

曲技飛行に使用する飛行機の多くは、曲技飛行のために設計されたものです。一般の飛行機よりも、運動性や強度が高められています。私が主に使用している飛行機は+10G〜-10Gという戦闘機をはるかに凌ぐ制限荷重に加え、最高時速402kmのスピードで飛行できるように作られています。一般的な軽飛行機の制限荷重はせいぜい+4G〜-2Gほどです。それ以上の強度は必要ないという設計思想でしょう。パイロットは、それぞれの飛行機の設計思想と目的にそって操縦を行います。普通の飛行機で無謀な曲芸をやるのは愚かなことですし、曲技専用機を曲技以外の用途に使用することはとてももどかしいものです。言ってみればパイロットというのは飛行機の神経系のようなものかもしれません。飛行機と一体化して、飛行機が求める飛び方の手助けを行うだけです。なので、飛んでいるとき、自分の力を示したいとか、人に勝ちたいとか、そういった人間的な感情はすべて消えてしまいます。同時に、自分と飛行機の境目も消えてゆきます。どう操縦したいか、なんて考えません。歩いているとき、足の筋肉の動かし方を考えないのと同じことです。無駄な感情や思考が削ぎ落とされて、残るのは空気と重力、それらに包まれて踊る飛行機だけです。このシンプルな世界では、全てが調和的に動いています。自分の意識は、世界中に拡散して消えてしまふようです。この調和の感覚は、スリルを楽しむことや無謀な操縦で危険をおかすタイプの精神性とは真逆のように思います。



滝川スカイスポーツフェアでのエアショーは快晴に恵まれ大勢の観客を魅了した。
撮影:山康弘氏

自分のやりたいことを、ただやるということ

意外に簡単？ 曲技飛行は 万人に開か れている

曲技飛行はとて
も難しい技術に見
えますが、実際は
意外にも簡単に習
得することができ
ます。ただ、他の
スポーツに比べて
習える機会が少なく、かかるお金も多いため、
現状として多くの人にとって縁のないものにな
っています。でも、いったんこの世界に足を踏
み入れることさえできれば、すぐに道が開けて
きます。私の場合、エアショーを見て曲技飛行
をやりたいと思ったってから6年で、世界
の舞台に立つことが出来ました。特に大げ
さな努力をしたわけでもなく、ただ楽しみ
ながら飛んでいると、自然と道が開けてき
ました。

曲技飛行は万人に開かれている。特殊な
人々と思われやすい曲技飛行パイロットで
あるからこそ、私たちはこのことを公言し
続けなければいけないのだと思います。一
見困難に見えることでも、やってみさえす
れば案外たいしたことない。やりたいこと
は、ただ単純にやればいい。

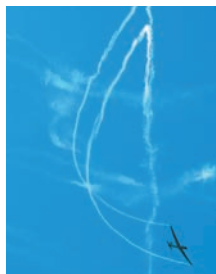


宙返りの途中、地面が頭上からせり上がってくる。板倉滑空場での訓練。機体はMDM-1FOX

北海道には 空への玄関がたくさん

昨年7月、滝川にてエアショーの機会を与えて
頂きました。心地良く乾いた夏の空を感じ
ながら飛び上がると、目の前の広大な大地と
大きく澄んだ空が印象的でした。北海道はスカ
イスポーツへのアクセスも容易で、空が近くに感
じられます。このような恵まれた環境を生かし
て、ぜひ多くの方に空の自由を体感してほしい
と思います。逆説的かもしれませんが、空への
一步を踏み出すと、今までもずっと空にいたん
だということに気づきます。地上にいても、地
面に接しているのは靴の裏だけ。私たちを包み
こむ空気は、すでに空
の一部であったことに
気づくのです。

私たちは、いつでも
自由の空にいます。



滝川フェアでの曲技飛行



梶 智就 (かじともなり)

1982年広島県生まれ。札幌市在住。
生物学者としての仕事の傍ら、ライフワークとして曲
技飛行を行っている。滑空機曲技無制限クラス日本
代表。2011年度世界ランキング9位。
グライダー曲技チーム「RedFoxII」デモパイロット。
Website: <http://flikloop.blogspot.com/>

SKYSPORTSEVENT

北海道各地で開催された

スポーツイベントご紹介

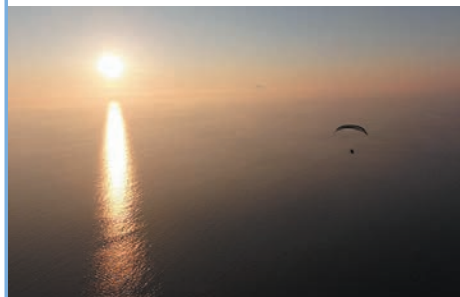


●6月29～30日 ■遠別町

フライヤーズサミットin遠別2013



動力パラグライダーの競技会を通じ「技能と安全の向上」をはかり、フライヤー相互の情報交換の場として、さらに地域の方々との交流を目的に、毎年道内各地で行っています。今年は遠別町に27機が集結。洋上に利尻富士を望みながら雄大な自然の中フライトを楽しみました。笹川遠別町長をはじめ「地域おこし協力隊」の皆様にも多大な協力をいただき盛大にかつ温かい雰囲気の中終えることができました。(北海道動力パラグライダーフライヤーズ協議会)



●6月30日(日) ■札幌市川下公園

第16回 さっぽろカイトフェスティバル (風の祭典)

150人が参加、和風・連風・創作風のデモンストレーションに、風あげ体験や風のプレゼント。スポーツカイトの実演など内容も充実し、参加した親子の皆さんと一日中風遊びを楽しみました。(札幌風の会)



●5月12日(日) ■北見市木のプラザ

北見こどものつどい(竹とんぼ)

自分の手で自然の素材を利用して工作することはマレだが、この日ばかりは提供された材料を使い、どこ竹のリーダーに教わりながら見事に竹とんぼを作り上げていた。色を塗り自分で作ったオリジナルの竹とんぼを手に笑顔で会場を後にする子どもたちを見るのはとてもうれしい。(どこ竹オホーツク竹とんぼの会)



●6月23日(日)

■札幌市南14条自転車公園

竹とんぼ教室



昔遊びの竹とんぼ。この日本伝承の遊びを通して、新しい視点と工夫で、進化している「ものづくり」の素晴らしさを子どもたちに伝えたい。また竹とんぼを通して地域の人たちと交流を深めこの素晴らしい遊びの文化を広めていきたいと考えています。竹とんぼ教室やイベントなど計画された時、えぞとんぼの会にご連絡下さい。お待ちしております。(えぞとんぼの会 TEL011-561-1403)



●1月2日(土) ■札幌市伏古公園

第36回新春干支連風100連揚げ

今では北海道の風物詩となったお正月の連風揚げ。良い天気にも恵まれ朝早くから100人以上のギャラリーが集まった。30名様に風をプレゼントし、干支連風を始める。まずまずの風に乗せてヘビ丸君の風が揚がる。50、60連揚がり、90連を越えるとカウントダウンが始まり、100連揚がると歓声と拍手が沸きました。(札幌風の会)



●5月5日(日) ■たきかわスカイパーク

こどもたちに大空のプレゼント



滝川名物「鯉のぼり」塗装のグライダーでの大空体験などをプレゼントするこどもの日の特別企画。当日は風が冷たい一日でしたが、子どもたちは元気いっぱい。抽選で選ばれた55名の小学生とご家族に大空の世界を満喫していただきました。こどもたちに大空への夢を育むため毎年開催しています。例年4月に募集を行いますので、お見逃しなく！(SATA)



2013

スカイス

●9月8日(日)

■紋別市オホーツク流氷公園

スカイフェスティバル2013in紋別

お天気に恵まれて、全てのプログラムを実施、大勢のお客様に楽しんでいただくことができました。特に熱気球係留フライトとモーターパラグライダーのデモフライトがコラボする時間帯は大勢の観客がビデオやデジカメを手に大盛り上がり！やはり「空の日」はスカイスポーツだと実感した瞬間でした。



●9月8日(日) ■札幌市

札幌丘珠空港フェスタ2013
滑走路見学バスツアー

「ふだん立ち入ることができない空港滑走路をバスでゆっくり走る！」という企画です。



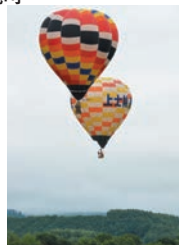
参加された皆さんからは「広いんだねー！」とか「ライトが綺麗！」とか「へー、横溝あるんだ！」など大変好評でした。会場内（HAC格納庫）に駐機した、ヘリコプター、グライダー、セスナ機、空港の除雪作業車等も展示され、コックピットに座って記念写真を撮る等秋の一日を楽しんでいただきました。



●8月8から11日 ■上士幌町

第40回北海道
バルーン
フェスティバル

今年は40回目の記念大会、開催期間も4日間となり、参加気球は36機（オフィシャル4機含む）総入場者数は約2万4500人となりました。初日の夕方から雨が降り2日目まではノーゲームとなったものの4日間で8競技を実施し、「ハッスルバルーンクラブ」（栃木）が総合優勝。会場内では過去の大会ポスターの展示や、地元3チームの協力により2日間で950人の係留搭乗を実施、ステージイベントのほか地元農産物を使った屋台などが出店して記念大会を盛りあげました。



●8月31日(土)～9月1日(日) ■本別町

本別きらめきタウンフェスティバル
2013

地場産カラマツ材で彩られた明るいステージで来場者を迎えたが、あいにくの雨模様となりました。初日の「東十勝花火大会」、2日目の「戦隊ショー」や「歌謡ショー」、本別産食材を堪能した「うまいもの市」、子どもに人気の「ふわふわランド」など多彩な催しに大勢の親子連れが訪れ、会場にはにぎやかな歓声が響きました。



●7月14日(日) ■網走市エコセンター

網走市親子工作教室

どこ竹オホーツク竹とんぼの会と網走ライオンズクラブの共催事業。ほとんどの子どもが初めて経験する小刀を使い緊張の中、竹を削り竹とんぼを作る姿は真剣そのもの。見守る大人たちはハラハラ、ドキドキです。しかし完成したときの笑顔は何ものにも変えがたい充実感。貴重な体験だったでしょう。（どこ竹オホーツク竹とんぼの会）



●7月28日(日) ■当麻スカイパーク

2013当麻スカイスポーツフェスタ

お天気に恵まれ約500人の航空ファンが来場しました。抽選でモーターグライダーに8人が体験搭乗。モーターパラグライダーのデモやタンデム体験が行われ空を満喫。中でもラジコンジェット機のデモ飛行は迫力があり、会場からは歓声があがっていました。当麻少年蟬太鼓、紙飛行機大会、ビンゴ大会も行われました。



美幌峠からパラグライダータンデムフライト！

オホーツクパラグライダークラブでは、毎年5月に無料体験会をおこなっています。2013年は残念ながら悪天候のため中止となりましたが、今後もフライトチャンスがあります。



「オホーツクパラグライダークラブ主催のパラグライダー体験会が11日と12日それぞれ午前10時から、美幌峠で開かれる。対象は18歳以上で参加無料。ベテランクラブ員が指導する。希望者は、暖かい服装で峠駐車場に集合を。同クラブは「春風のもと、ぜひ3次元の世界を体験して」と参加をよびかけている。コンディションを確認するので事前に連絡を」。これは5月上旬北見・網走・美幌の情報誌に掲載された募集記事です。写真のとおり屈斜路湖をながめながらのフライトは魅力！注目、5月になったら連絡してみよう！

オホーツクパラグライダークラブ 090-3398-8425(携帯)

2013年度みんなのスカイスポーツ教室開催

開催日時 平成25年8月2日(金) 10時～12時
場 所 深川市いきがい文化センター
主 催 深川市教育委員会とHOSPAの共催
講 師 飯島実(なかしべつ伝成館代表)「ふしぎヒコーキ教室」
参 加 者 深川小学校生35名

「ふしぎヒコーキ教室」を深川で開催

教室では、飯島先生が持参した様々なヒコーキ?の実演や、子供たちは、先生からのアドバイスを受けながら、折り紙や発泡スチロールなどを使ってのヒコーキ作製に一生懸命。ヒコーキをつくり終え、飛ばしても良いとの合図に、子供たちは無邪気な声をあげながらセンター内を縦横無尽に駆け出しヒコーキを飛ばしていた。思いのほか飛ぶヒコーキをつくった子供の得意満面の笑みが印象的でした。



HOSPA稲田常務理事の開催挨拶



飯島先生の実演

○深川教育委員会教育長より礼状

おかげをもちまして、定員を上回る参加があり、盛況のうちに終了することができました。参加した小学生も講師から指導を受け、空への憧れや科学、ものづくりへの関心を高める有意義な機会となりました。



※教室の様子は25年8月10日北空知新聞にて掲載紹介されました。

熱心に製作するこどもたち

「ふしぎヒコーキ教室」感想

深川小学校 6年 中野 紗希

いろいろな不思議な紙ヒコーキを作ったり、かんせい品を見たりできて、とてもたのしかった。不思議なものが飛んだり、いろいろな方法で飛ばすのはとてもびっくりした。いろいろな方法を教



飯島先生と助手からの親切な指導

えてもらうことができて良かった。

※深川小学校参加者全員から感想文を頂きました。

ご挨拶

公益社団法人北海道スカイスポーツ協会 常務理事 稲田 裕視

スカイスポーツを通じて地域振興を創出

昨年5月の総会で佐藤さんの後任になりました稲田でございます。事務を執るサラリーマン生活が長かったせいか、何か仕事のお手伝いするにしてもデスクワークだけは避けたいと思っていたところ、ひょんなことからデスクワーク付きのスカイスポーツ協会に勤務することになりました。皆さんにご迷惑をかけることにならな



滝川スカイパークにてグライダー初体験

いだろうかと心配でした。しかし、ここ半年スカイスポーツフェアなどお手伝いをしてみて、皆さんがにこやかにスカイスポーツを楽しんでいる様子を見ると、気持ちも少しは楽になりました。協会の重要な使命は、この北海道の大地でスカイスポーツの振興を通して、いろいろな分野で地域の賑わいを創出することだと思います。少しでもお役に立つことができればと考えておりますので、皆様のご協力ご支援をよろしくお願いいたします。

一般社団法人
北海道開発技術センター

dec

Hokkaido Development Engineering Center

〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号
セントラル札幌ビル3F・4F
TEL 011-738-3361 FAX 011-738-1886
URL <http://www.decnet.or.jp/>

人に優しく、街にやさしく

地域の人々の幸せな暮らしづくりのパートナーたるべく事業を進めています。
火災保険、自動車保険をはじめ、最近の多様なライフスタイルにあわせて、
個人向け、企業向けに各種保険商品を取り扱っております。

住まいと保険のトータルプランナー——北海道建物

北海道建物株式会社

〒060-0063 札幌市中央区南3条西6丁目南3条グランドビル
TEL 011-281-2277 (損害保険、生命保険、医療保険)
TEL 011-281-0123 (不動産仲介、ビル・マンション賃貸管理)

地域の元気を水辺から!

一般財団法人石狩川振興財団

札幌市中央区南1条東1丁目5番地
電話 (011) 242-2242 FAX (011) 242-2443

第35回心護杯

風名人が全国から200人以上集結

日本の風の会 秋季全国大会 北海道ではじめて開催

●開催日 平成25年10月13日(日)
●場所 札幌市手稲区前田森林公園

大会は今年で三十五回目の秋季全国大会で北海道では初めての開催となった。北は北海道、南は沖縄、九州、四国など全国各地から風名人二百人以上が札幌に集結した。前日は大会実行委員長札幌風の会会長田中光夫氏の司会により、前夜祭が札幌サンプラザで行われ、創作風の展示、オリジナル風のオークションやタコ談義などで大変な盛り上がりでした。



前夜祭会場



前夜祭会場に展示された蛸の風



巨大な蛸の風



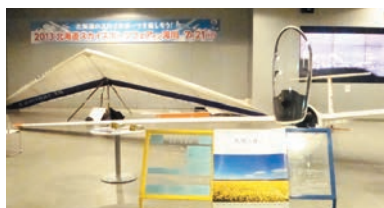
全国各地から集まった風名人の皆さん

大会開催にあたって審査委員長から『人間には人格というものがあるが、タコには風格というものがある点を考慮したい』旨の話があり大会が始まった。朝からあいにくの小雨模様でしたが風には恵まれ、青森県の津軽風、富山県の蛸の風など各県の伝統風や創作風など、地域の風名人が一生懸命大空に向かって風揚げを楽しんでいました。

次期開催地は秋田県由利本荘市の予定です。



札幌スポーツカイトクラブ



北海道ハングパラグライディング連盟

- 開催日：平成25年7月10日(水)
- 場所：札幌駅前地下歩行空間(北3条交差点広場)
- 主催：(公社)北海道スカイスports協会
- 協力：スカイスports団体

「チ・カ・ホ」で初のスカイスports展示会開催

7月21日(日)開催予定のスカイスportsフェアの事前PRを兼ねて札幌駅前地下歩行空間(チ・カ・ホ)にて、グライダー、ラジコン、カイトなどの実機展示やフェア開催時のDVD上映、各種ポスターの展示など、スポーツ団体と協力

し北海道におけるスカイスportsの紹介を実施した。竹トンボや風などのミニスカイスports教室も開設し、大勢の歩行者が驚いた様子で足を止め、全長7m幅15mのグライダーなど興味深げに見いていた。



えぞとんぼの会



北海道模型連盟



滝川スカイスports振興協会



各種ポスターの展示

●登山 ●キャンピング ●カヌー ●XCスキー
アウトドアスポーツ専門

秀岳荘

北大前店/北条北12条西3丁目 ☎726-1235
白石店/白石区本通1丁目南2 ☎860-1111
旭川店/旭川市忠和5条4丁目 ☎(0166)61-1930

HOSPA

ホスパ会員募集

当協会では自治体をはじめ団体、法人、個人の方をHOSPA会員として募集中。スカイスportsに興味のある方は、下記ホームページをご参照の上、お電話にてご照会ください。

公益社団法人北海道スカイスports協会(HOSPA)
電話011-232-4347
ホームページは「HOSPA」で検索



バルーンから眺める会場全景



スカイダイビングのあと市旗を受け取る滝川市長



スカイスポーツ教室の子供達と名人達



体験や模擬競技会優秀者の表彰式



早朝から大勢並んでいました



大会の華、グライダーによる曲技飛行



爽快! モーターグライダーによる編隊デモフライト



バルーンから眺める石狩川の絶景

飛び立とう! 空知の翼に夢のせて

開催日:平成25年7月21日(日)

場所:たきかわスカイパーク

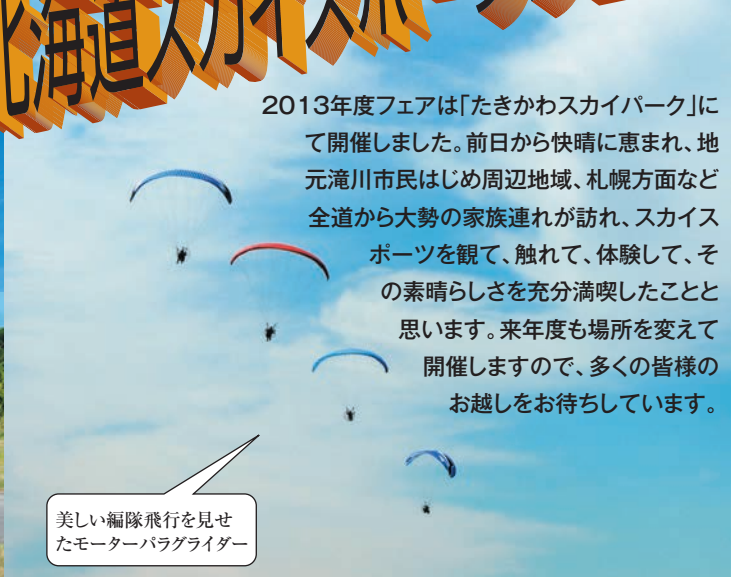
来場者:8,500人

2013北海道スカイスポーツフェアイン滝川

2013年度フェアは「たきかわスカイパーク」にて開催しました。前日から快晴に恵まれ、地元滝川市民はじめ周辺地域、札幌方面など全道から大勢の家族連れが訪れ、スカイスポーツを観て、触れて、体験して、その素晴らしさを充分満喫したと思います。来年度も場所を変えて開催しますので、多くの皆様のお越しをお待ちしています。



スピーディで優雅な舞、スポーツカイトの演技



美しい編隊飛行を見せたモーターパラグライダー



大人にも人気のヘリコプター体験



気持ちよさそうなスカイダイビング

やったー!こんなに揚がったパラ体験



これは珍しいカイト(凧)です



マイクロライトのデモフライト



各種自衛隊ヘリや装甲車が並んだ展示コーナー



グライダーがたくさん並んだ地上展示



大勢の来場者抽選券の配布に長蛇の列



ダンシングキッズの元気な演技が好評



モーターパラグライダーのエンジン展示が注目



自慢の愛機を展示した模型飛行機